

FAX通信



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

15.6.25
週報第544号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第25週(6/15~6/21)※	
	発生数(人)	前週との比較
インフルエンザ	0	↓
感染性胃腸炎	42	↓
溶連菌咽頭炎	23	↓
手足口病	0	↓
水痘	0	→
伝染性紅斑 (リンゴ病)	3	↑
流行性耳下腺炎	1	↑
突発性発疹	2	↓
咽頭結膜熱	6	↓

(参考) 秋田県の状況 ※ 第24週(6/8~6/14)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より2%減少)
2位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より7%減少)
3位: 咽頭結膜熱 (全県で前週より50%減少)
4位: 水痘
5位: 伝染性紅斑
横手地域 警報 溶連菌咽頭炎 急性出血性結膜炎
県内 警報・注意報 北秋田地域警報(感染性胃腸炎)

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(6/23)

施設(数)	感 染 性 胃 腸 炎	イ ン フ ル エ ン ザ	水 痘	マ イ コ ブ ラ ズ マ	お た ふ か ぜ	溶 連 菌 咽 頭 炎	伝 染 性 紅 斑	咽 頭 結 膜 熱
保育所・園(35)	9			5	1	6	3	1
小学校(22)						2		
中学校(8)	1							
高校、他(7)								

感染症情報収集システムより(人)

伝染性紅斑(リンゴ病) 発生動向に注意しましょう

流行期は春から初夏といわれます。県内は例年並みの規模で推移していますが、東京をはじめとした全国各地から、流行の拡大が報告されています。

症状など 微熱や咳等のかぜ症状 → 症状がおさまった後に、頬にリンゴのような紅斑や身体にレース状の発疹が出る。重症化せずに回復することが多い。

しかし 妊娠中の女性が感染すると、流産等の危険性があり、風しん同様、極めて注意が必要な病気のひとつです。

対策 最も感染力が強いのは初期のかぜ症状の時。でも、この時点での診断は難しく、また感染しても症状が現れないことも多い。→ 知らずに感染を拡げてしまいます。

★ **症状がある場合の咳エチケットや日頃からの手洗いが大変重要です** ★